

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた  
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立鹿折小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒988-0817  
宮城県気仙沼市西八幡町54-1

児童生徒数：男子 141 名 女子 120 名 合計 261 名  
児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

#### 4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

##### ○今年度の活動概要

鹿折小学校では、学校教育目標「人間性豊かで自ら学ぶ力をそなえ、国際社会にたくましく共に生きる児童の育成」のもと、4つの目指す児童像「夢をもち、進んで勉強する子ども」「思いやりをもち助け合う子ども」「協力し合い喜んで働く子ども」「心と体をきたえる子ども」を掲げ、その具現に向け、教育活動に取り組んでいる。

その中においてESDの学習で特に重要視しているのが、国際理解教育である。宮城教育大学国際理解研究センターと連携し、宮城教育大学や東北大学の留学生との国際交流活動を通して、「自国の文化に対する理解や他国の異なる生活習慣、伝統、価値観に対する理解を深めるとともに、互いに助け合おうとする子どもの育成」を目指している。

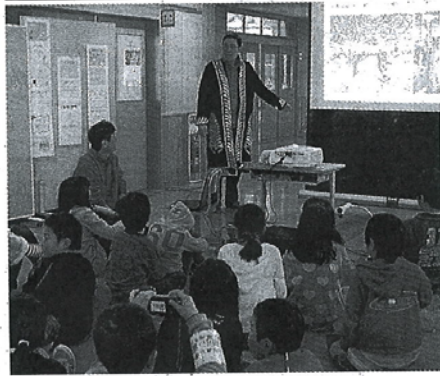
今年度も児童の国際感覚を豊かにするために、ユネスコスクールESDアシストプロジェクトの助成金を活用し、留学生との交流会を2回実施することができた。

# 異国文化に興味津々

鹿折 小 外国人留学生と交流会

気仙沼市立鹿折小学校（藤村俊美校長）の児童たちが13日、県内の国立大学に留学している外国人と触れ合い、異国の文化や生活習慣などを学んだ。宮城教育大学と連携

25. 2. 16(土) 三陸新報



民族衣装を着て説明するウズベキスタンのバキエフさん

して毎年行っている事業で、今年はウズベキスタン、ミャンマー、スウェーデン、中国の4カ国から留学している学生7人（宮教大4人、東北大3人）が、全校児童261人と交流した。

交流会は学年ごとに行われた。このうち4年生41人はウズベキスタン出身のバキエフさん（30）、中国浙江省

出身の杜建金さん（26）と交流した。バキエフさんは、ウズベキスタンがシルクロードの中継地として栄えた中央アジアの国で、綿花栽培や金の産出が盛んなことなどを説明。刺しゅうによる金色の装飾をたくさん施した民族衣装を着て見せ、子供たちの注目を集めた。杜さんも、中国人の大部分を占める漢民族の生活の様子を写真などで紹介。北京タックなどの中華料理をはじめ、漢民族伝統の赤い衣装を身につけての結婚式などをスライドで映し、子供たちは興味津々の様子だった。菅野飛来君（10）は、「世界にはいろいろな国があり、さまざまな文化や暮らしがあることが分かった。身近でみるウズベキスタンの民族衣装はきれいだった」などと話していた。

